

**生活支援体制整備事業  
「生活状況（生きがいつくり）」に関する  
アンケート調査報告書**

**令和元年12月**

**社会福祉法人**

**大阪市天王寺区社会福祉協議会**

# 【もくじ】

## I 調査の概要

- 1 本調査実施の背景と目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3
- 2 調査の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3

## II 調査結果及び考察

### 1 基本属性

- 問1 性別・年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 4
- 問2 居住地域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 5
- 問3 住居形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 5
- 問4 家族構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 6
- 問5 居住年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 6
- 問6 町会加入の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
- 問7 日常生活状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 7
- 問8 介護認定の有無、および介護認定別の内訳・・・・・・・・ p 8

### 2 近所づきあいについて

- 問9-1 近所づきあいの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 9
- 問9-2 「(近所づきあいについて) あいさつ程度、もしくは、つきあいはほとんどない」  
理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 10

### 3 困ったときの相談先

- 問10 困ったときの相談先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 11

### 4 地域活動への参画について

- 問11-1 地域活動への参画の有無、および参加している地域活動の内訳・・・・・・・・ p 12
- 問11-2 地域活動に参加したきっかけ・・・・・・・・・・・・・・・・ p 13
- 問11-3 地域活動に参加しない理由・・・・・・・・・・・・・・・・ p 14

**5 現在活動中・今後参加してみたい活動**

問 12 「している」活動・「してみたい」活動について . . . . . p 1 5

**6 趣味・特技**

問 13 趣味・特技について . . . . . p 1 7

**7 その他意見（自由回答）**

問 14 生きがいくくりや地域における活動についての意見 . . . . . p 1 8

**III 参考文献** . . . . . p 1 8

**IV 資料** . . . . . p 1 8

# I 調査の概要

## 1 本調査実施の背景と目的

天王寺区社会福祉協議会では、大阪市から生活支援体制整備事業を受託し、天王寺区在住の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、健康・生きがいをづくりの取り組みを推進している。

高齢者が地域住民との繋がりを保ち、また地域における活躍の機会を増やすために、「地域とのつながり」をテーマとし、区内在住の高齢者へ広く意向を問うため、アンケート調査を実施した。

今回の調査結果は、社会参加や介護予防のための居場所・通いの場のさらなる拡充に向け、具体的な構想を立てるための参考資料として活用する。

## 2 調査の方法

調査対象は、天王寺区内在住の65歳以上の高齢者で、かつ高齢化率が高いエリアの住民とした。調査票に基づく無記名のアンケート方式による調査を行った。調査票の配布は、抽出したエリアの全世帯（19,760世帯）へ配達地域指定郵便にて送付し、65歳以上の高齢者に回答を依頼した（配布物：調査票、返信用封筒）。回収数は、2,256人（回収率11.4%）であった。

調査票については、質問項目に回答を記入してもらい、返信用封筒にて返送していただいた。

調査実施にあたり、調査は統計的に処理され、個人情報が出ることがないこと、また、本調査の目的以外に使用しないことを調査票に記載、周知した。

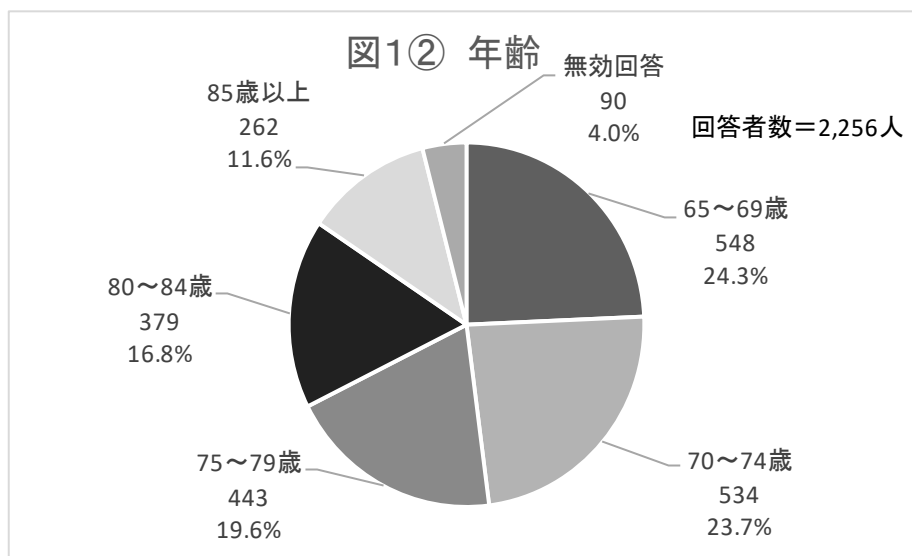
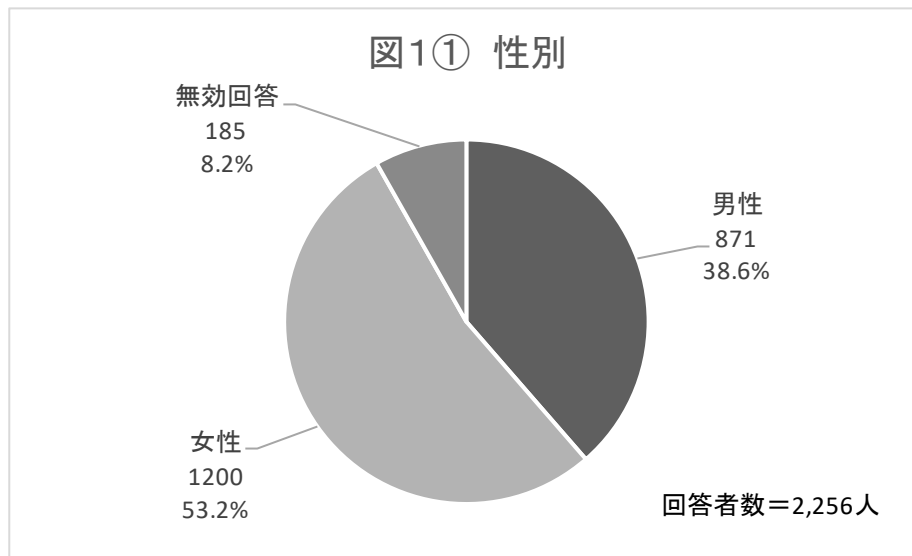
調査の実施期間は、平成31年1月中旬から1月末までとした。集計・分析の期間は、平成31年2月から令和元年8月とした。

## Ⅱ 調査結果及び考察

### 1. 基本属性

#### 問1 性別（図1①）・年齢（図1②）

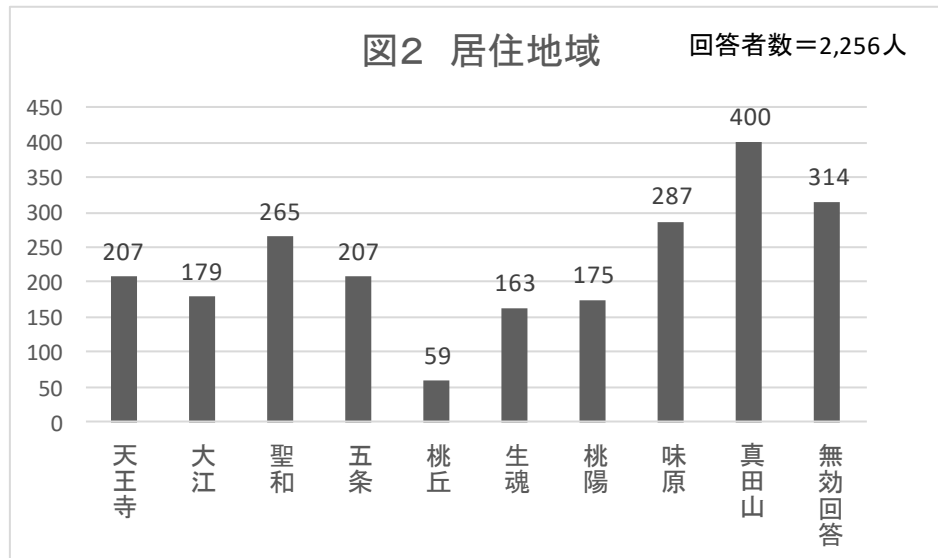
回答者の性別は、「男性」38.6%に対し、「女性」53.2%となっている。また回答者の年齢は、「65～69歳」が24.3%で最も多く、次いで「70～74歳」が23.7%、「75～79歳」が19.6%となっている。再掲すると、65～74歳の前期高齢者および75歳以上の後期高齢者ともに計48%であった。



## 問2 居住地域 (図2)

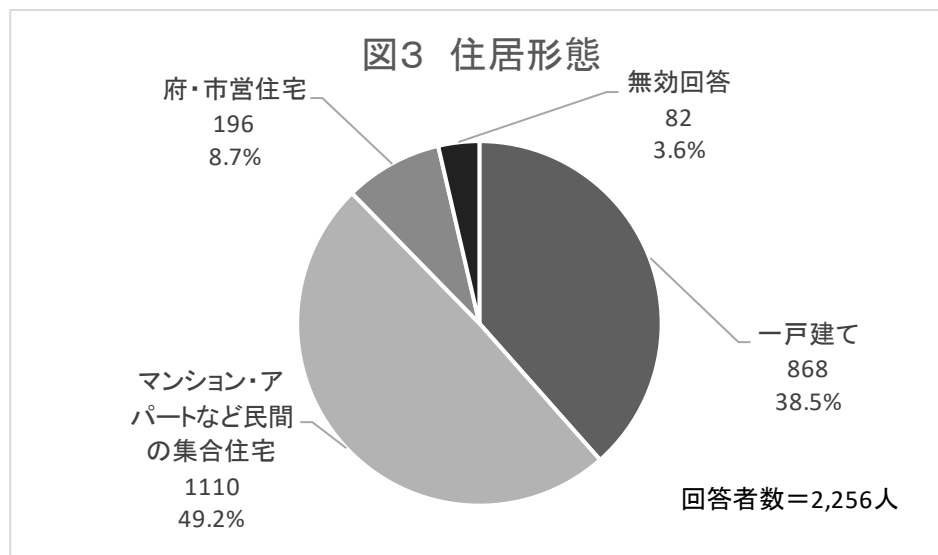
区内9地域別にみると、真田山地域(400)、味原地域(287)、聖和地域(265)、天王寺・五条地域(207)、大江地域(179)、桃陽地域(175)、生魂地域(163)、桃丘地域(59)の順に回答数が多くなっている。

※本調査では区内において高齢化率の高いエリアを抽出・配布したため、地域によって配布数に偏りあり。



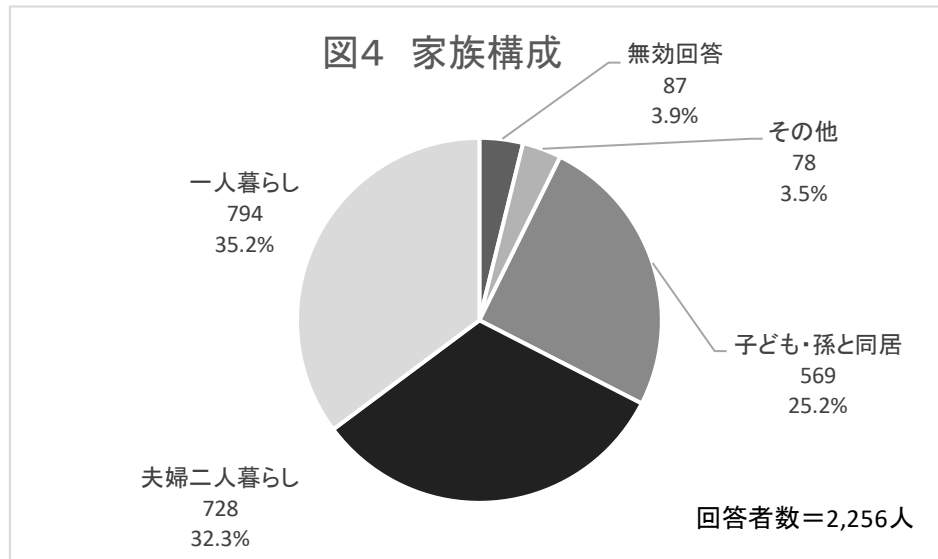
## 問3 住居形態 (図3)

回答者の住居形態は、「マンション・アパートなど民間の集合住宅」が49.2%で最も多く、次いで「一戸建て」が38.5%、「府・市営住宅」が8.7%となっている。一戸建て以外の、マンション等集合住宅の割合は計57.9%と、半数以上を占めている。



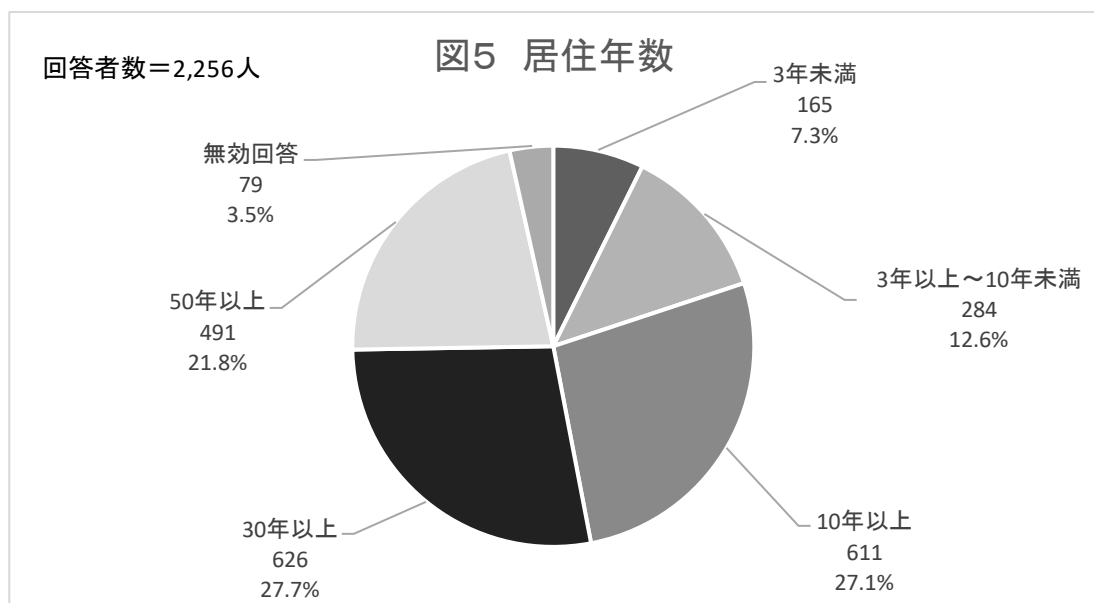
#### 問4 家族構成 (図4)

回答者の家族構成は、「一人暮らし」が35.2%で最も多く、次いで「夫婦二人暮らし」が32.3%、「子ども・孫と同居」が25.2%、「その他（義母・義父含む親、兄弟姉妹、友人等）」が3.5%となっている。65歳以上高齢者のうち、独居・夫婦のみの世帯数が多いことがうかがえる。



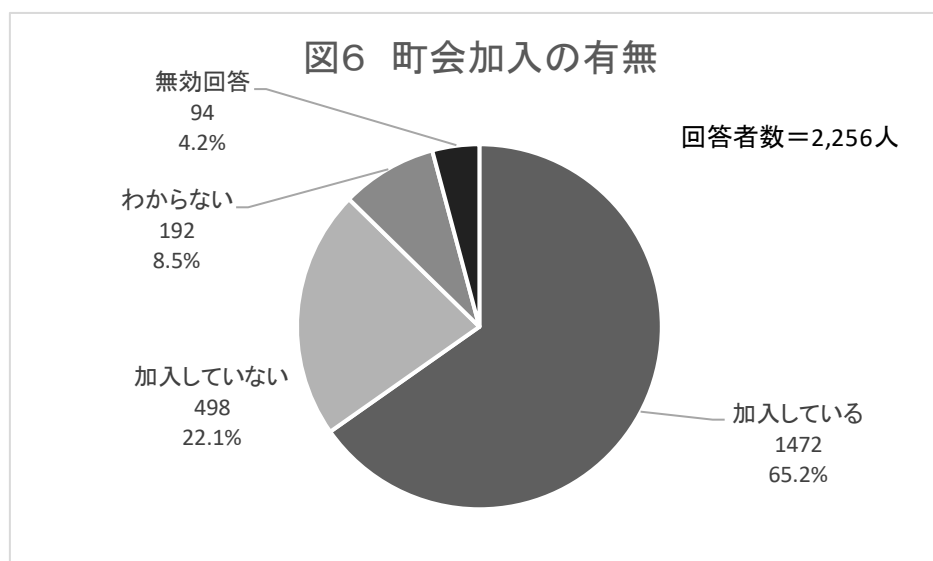
#### 問5 居住年数 (図5)

回答者の居住年数は、「30年以上」が27.7%で最も多く、次いで「10年以上」が27.1%、「50年以上」が21.8%、「3年以上～10年未満」が12.6%となっている。「3年未満」が7.3%と最も少ない。30年以上の居住者は合計49.5%と、半数近くを占めている。



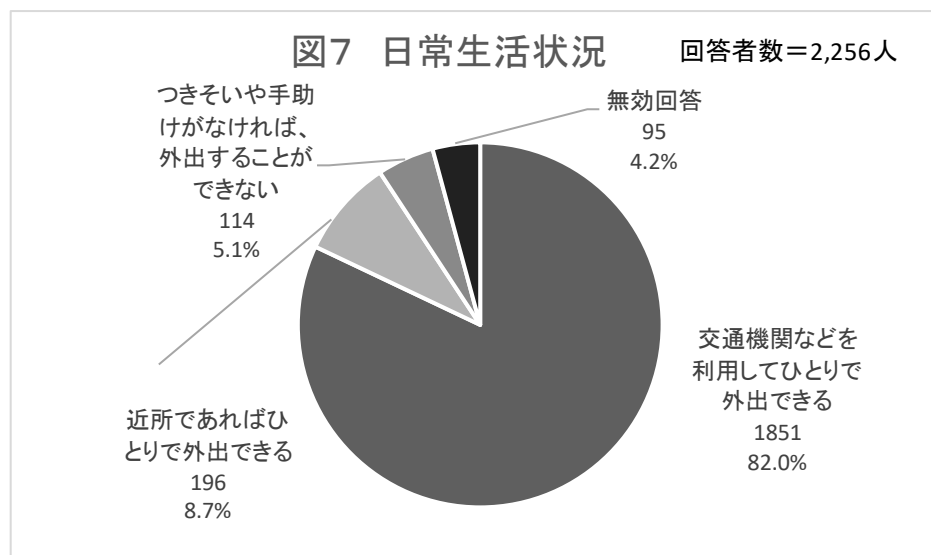
## 問6 町会加入の有無 (図6)

町会加入の有無は、「加入している」が 65.2%で、「加入していない」の 22.1%を上回っている。また、「わからない」との回答も 8.5%であった。



## 問7 日常生活状況 (図7)

日常生活状況は、「交通機関などを利用してひとりで外出できる」が 82.0%と大部分を占めた。次いで「近所であればひとりで外出できる」が 8.7%、「つきそいや手助けがなければ、外出することができない」が 5.1%であった。



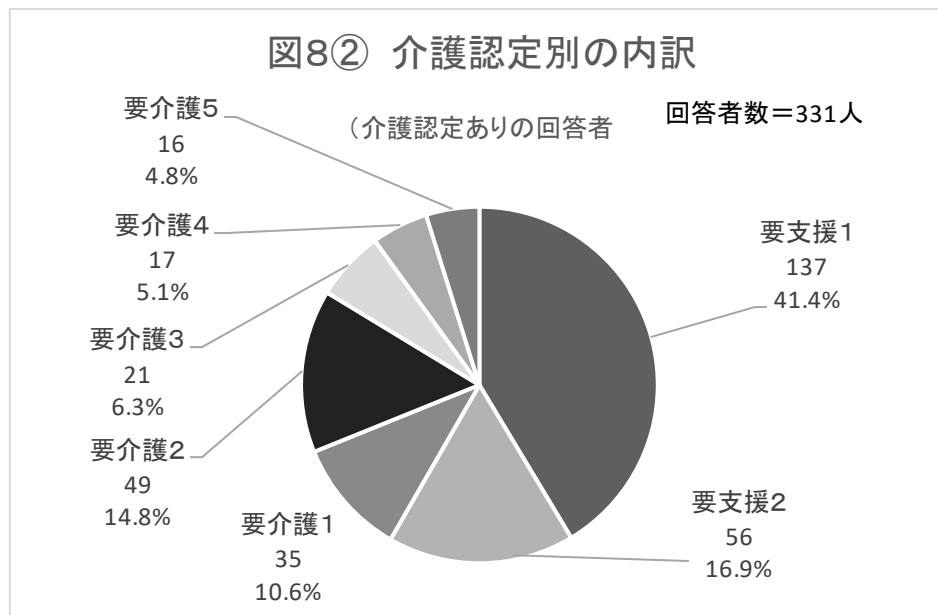
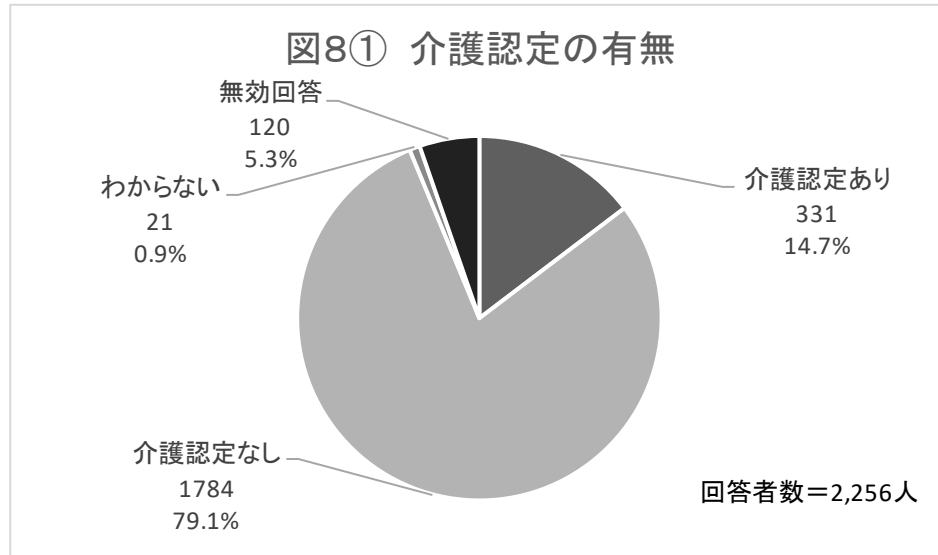


## 問8 介護認定の有無（図8①）、および介護認定別の内訳（図8②）

介護認定状況は、「介護認定を受けていない（79.1%）」が「介護認定を受けている（14.7%）」を大きく上回った。

また「介護認定を受けている」回答者の内訳は、「要支援1」41.4%、「要支援2」16.9%、「要介護1」10.6%、「要介護2」14.8%、「要介護3」6.3%、「要介護4」5.1%、「要介護5」4.8%の順に、介護度が低いほどその割合も低くなっている。

全体として、介護が必要な状態である回答者が少ない（比較的自立度の高い回答者が多い）といえる。



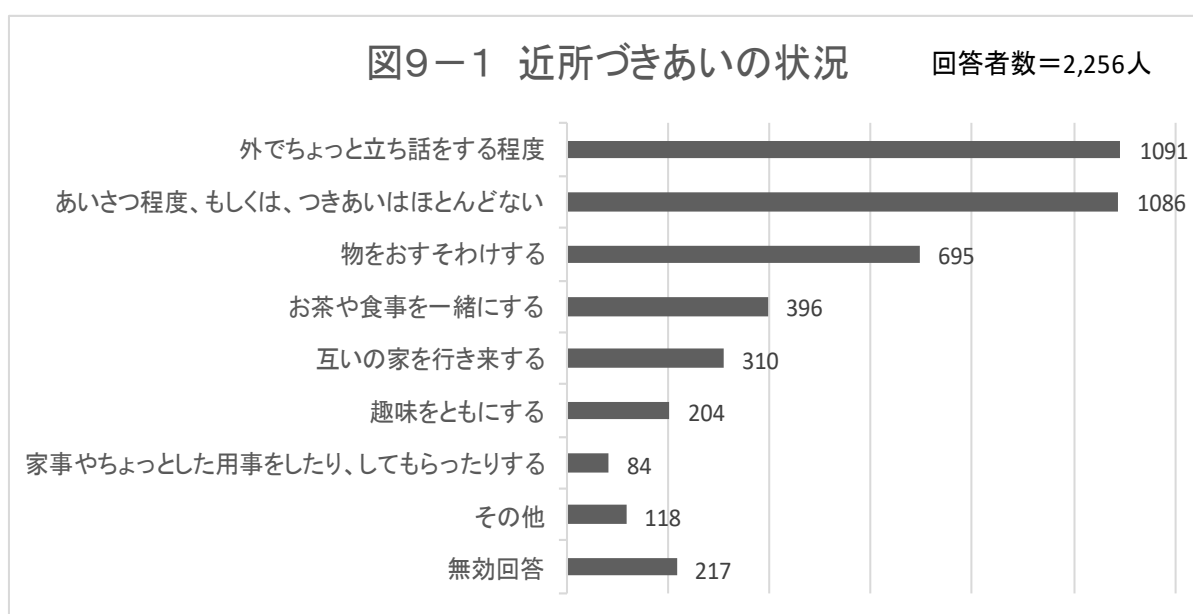
## 2. 近所づきあいについて

### 問9-1 近所づきあいの状況 (図9-1)

近所づきあいの状況は、「外でちょっと立ち話をする程度 (1091)」が最も多く、僅差で「あいさつ程度、もしくは、つきあいはほとんどない (1086)」が第2位となった。

そのほか、「物をおすそわけする (695)」、「お茶や食事を一緒にする (396)」、「互いの家を行き来する (310)」、「趣味をともにする (204)」、「家事やちょっとした用事をしたり、してもらったりする (84)」の順に多くなっている。なお「その他 (118)」については、地域活動への参加 (食事会、老人クラブ等) を通して、あるいは地域活動の運営・提供者 (町会役員、喫茶サロン等のボランティア等) を通して、つきあいがあるとの回答もみられた。

近所づきあいは希薄な傾向にあり、「物をおすそわけする」「お茶や食事を一緒にする」「互いの家を行き来する」といったより踏み込んだつきあいは、少なくなっていると推測される。

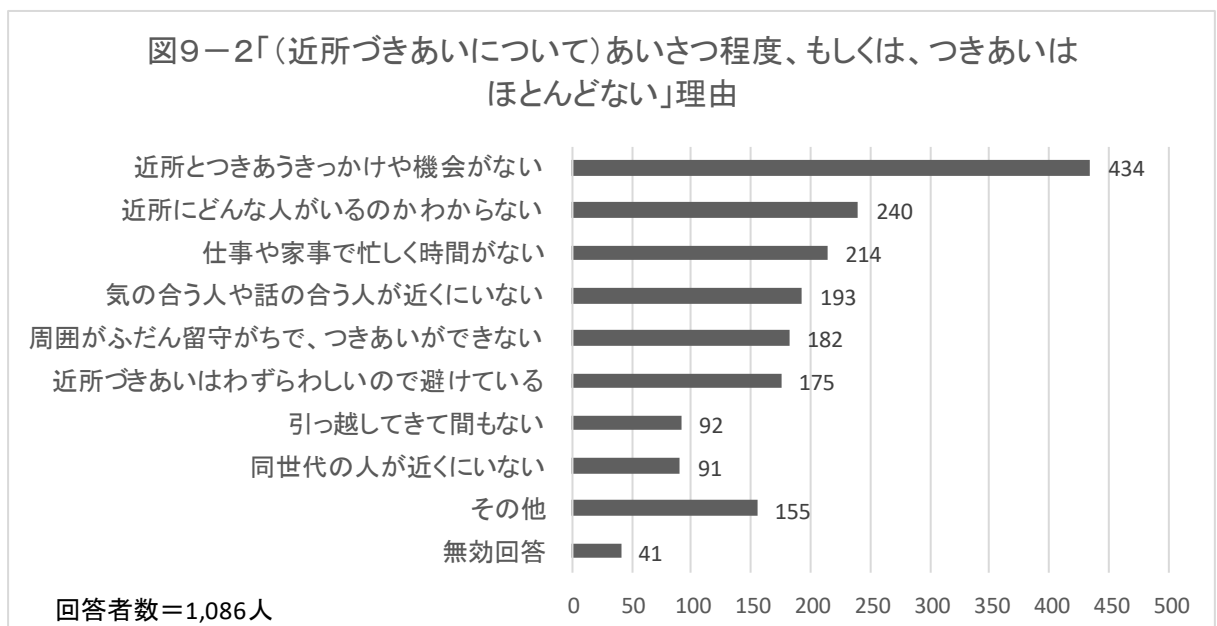


## 問9-2 「(近所づきあいについて) あいさつ程度、もしくは、つきあいはほとんどない」理由 (図9-2)

“(近所づきあいについて) あいさつ程度、もしくは、つきあいはほとんどない”と回答した人に、その理由についてたずねた。「近所と付き合うきっかけや機会がない(434)」が最も多く、そのほかの選択肢との差が大きかった。次いで「近所にどんな人がいるのかわからない(240)」、「仕事や家事で忙しく時間がない(214)」、「気の合う人や話の合う人が近くにいない(193)」、「周囲がふだん留守がちで、つきあいができない(182)」、「近所づきあいはわずらわしいので避けている(175)」と続いた。なお、「引っ越してきて間もない(92)」、「同世代の人が近くにいない(91)」の回答数は比較的少ない。

また「その他(155)」で挙げられた理由のうち、“身体的な理由(一人では外出できない、足が不自由)”“個人の性格や考え(深いつきあいを好まない、必要性を感じない)”“マンション・集合住宅に居住(隣人と顔を合わせる機会がない、町会に関する情報がない、地域行事に参加しづらい)”、“近所の状況や物理的な環境によるもの(近隣の友人が亡くなった、飲食街や空き家・空き部屋が多い)”などの回答が多かった。

以上より、いわゆる“近所づきあいのわずらわしさ”より、“近隣の住民と知り合うきっかけやつきあう機会が少ない”ことが、近所づきあいの希薄化に影響している可能性も考えられる。

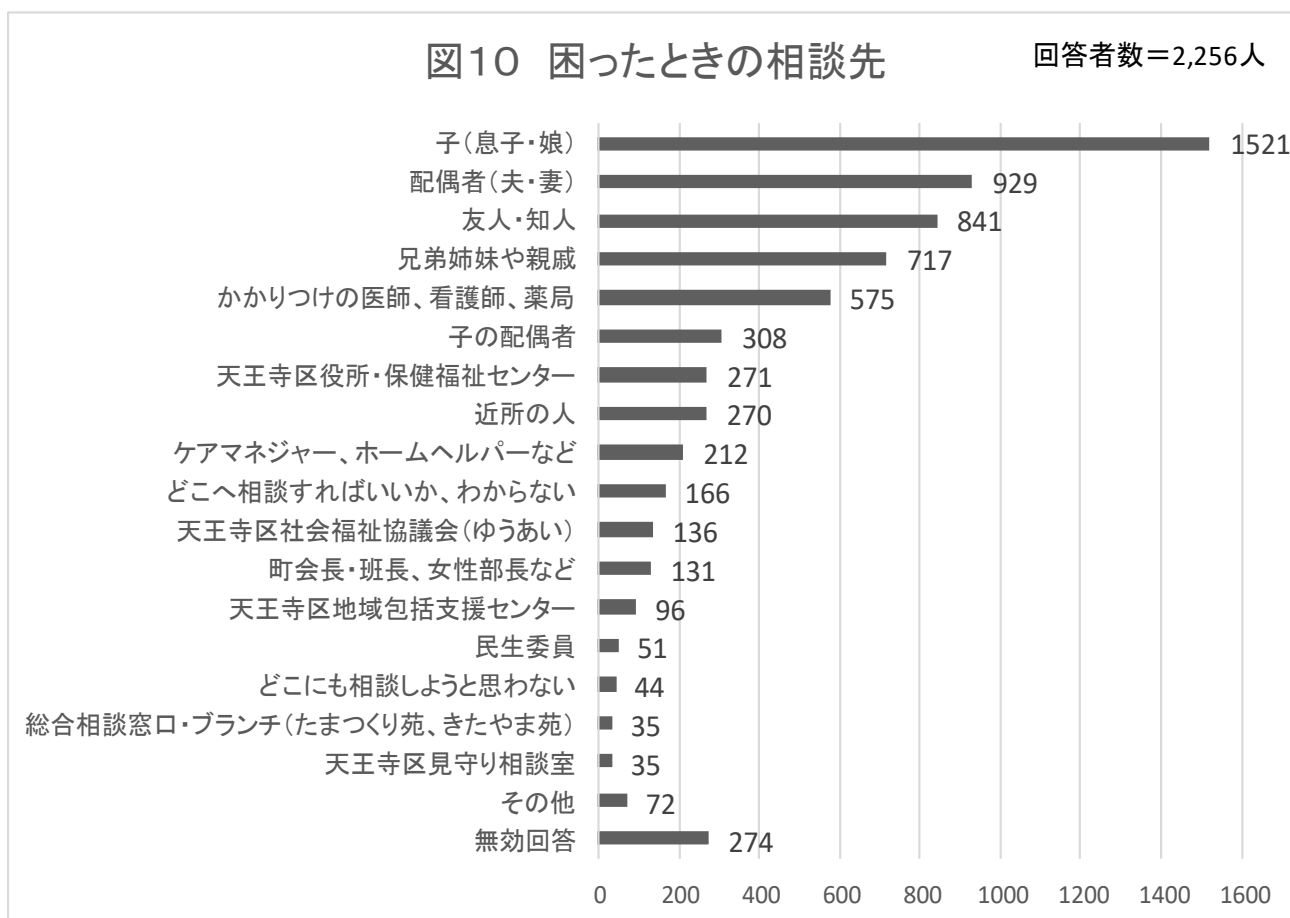


### 3. 困ったときの相談先

#### 問10 困ったときの相談先 (図10)

困ったときの相談先について、最も多かったのは「子(息子・娘)(1521)」で、次いで「配偶者(夫・妻)(929)」、「友人・知人(841)」、「兄弟姉妹や親戚(717)」、「かかりつけの医師、看護師、薬局(575)」の順であった。一方、「民生委員(51)」、「総合相談窓口・ブランチ(35)」、「天王寺区見守り相談室(35)」は少なく、「どこへ相談すればいいか、わからない(166)」との回答も一定数あった。なお、その他(72)には“マンションの管理人”“弁護士・税理士、相談員やヘルパー等の専門家”との回答もあった。

子どもや配偶者などの家族や親戚に相談するケースが多く、「かかりつけの医師、看護師、薬局」を除けば、相談機関・専門職への相談は比較的少ないことがうかがえる。

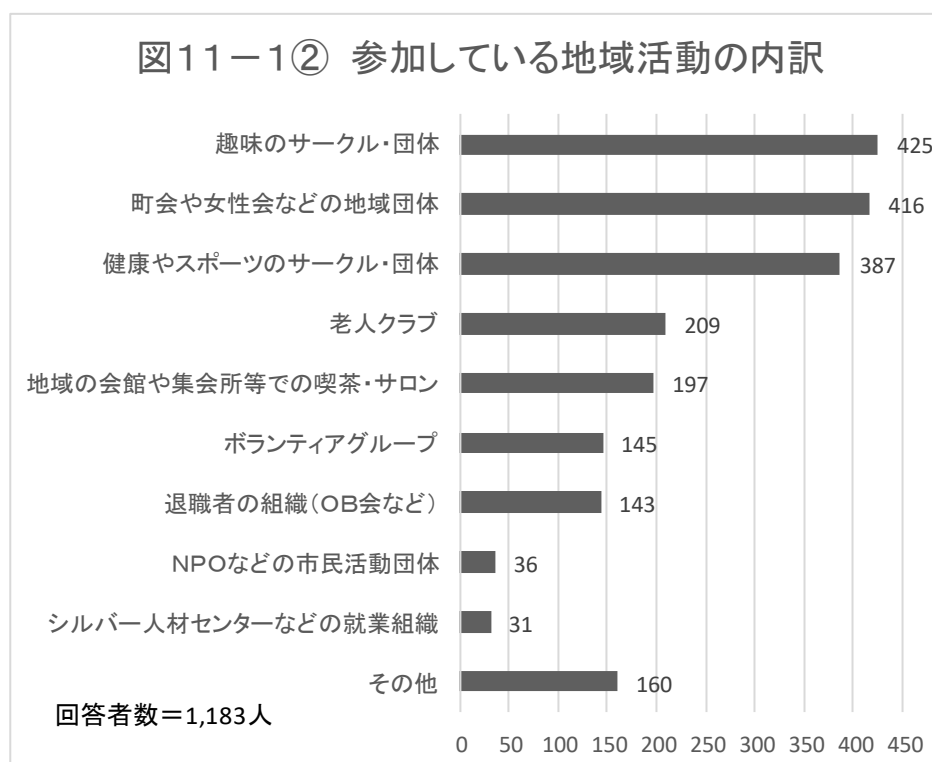
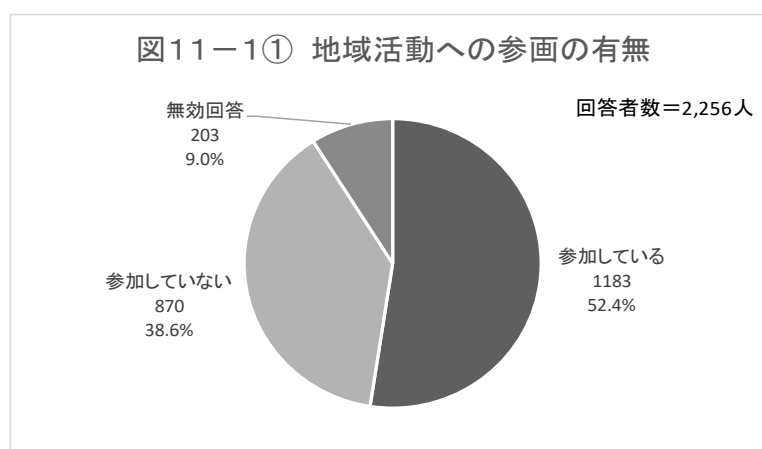


#### 4. 地域活動への参画について

##### 問11-1 地域活動への参画の有無（問11-1①）、および参加している地域活動の内訳（問11-1②）

地域活動の参画の有無は、「参加している」が52.4%、「参加していない」が38.6%であった。そのうち「参加している」と回答した人の活動内容の内訳は、「趣味のサークル・団体（425）」、「町会や女性会などの地域団体（416）」、「健康やスポーツのサークル・団体（387）」が比較的多く、次いで「老人クラブ（209）」、「地域の会館や集会所等での喫茶・サロン（197）」、「ボランティアグループ（145）」、「退職者の組織（143）」の順であった。なお、「NPOなどの市民活動団体（36）」、「シルバー人材センターなどの就業組織（31）」の回答数は少なかった。「その他（160）」においては、「宗教関係・団体」「学習、教室（語学、高齢者大学校）」などが特徴的な回答であった。

地域活動へ参加している人が半数以上を占める一方で、参加していない人も約4割と、少なくない数だといえる。

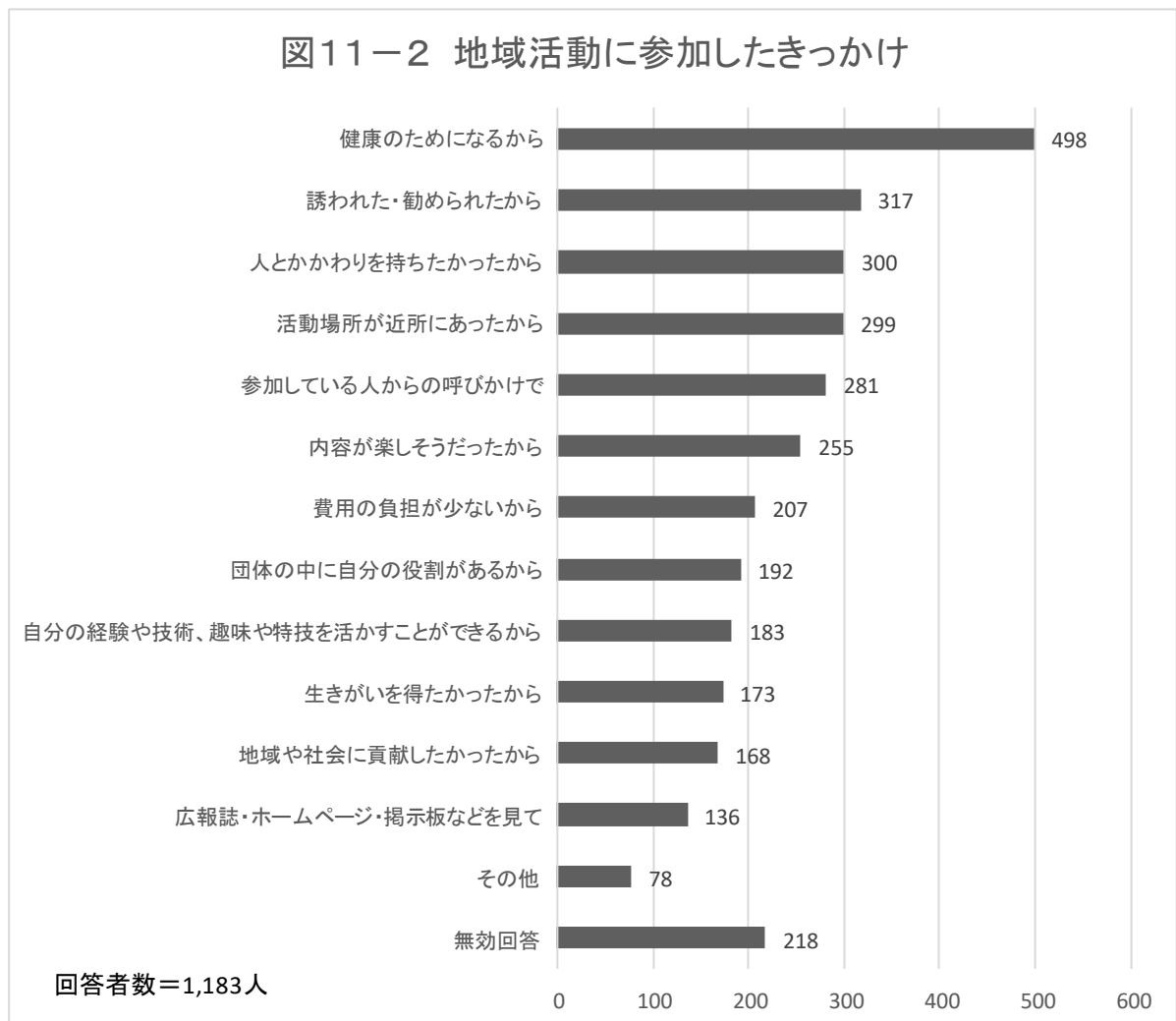


## 問11-2 地域活動に参加したきっかけ (図11-2)

“問11-1で「1.～10.」に1つでも○が付いた(地域活動に参加している)”と回答した人に、参加するようになったきっかけについてたずねた。「健康のためになるから(498)」が最も多く、次いで「誘われた・勧められたから(317)」、「人とかかわりを持ちたかったから(300)」、「活動場所が近所にあったから(299)」、「参加している人からの呼びかけで(281)」、「内容が楽しそうだったから(255)」の順に多かった。一方、「広報誌・ホームページ・掲示板などを見て(136)」は最も少なかった。また「その他(78)」では、“町会加入、あるいは町会役員になったのがきっかけで”との回答が比較的多かった。

なお、「誘われた・勧められたから」の「誰から」かについては、“友人・知人”“町会役員や関係者”“家族”“近所の人”との回答が目立った。また「広報誌・ホームページ・掲示板などを見て」の「何を見て」については“(区役所、市立生涯学習センター、老人福祉センター等が発行する)広報誌”の割合が多かった。

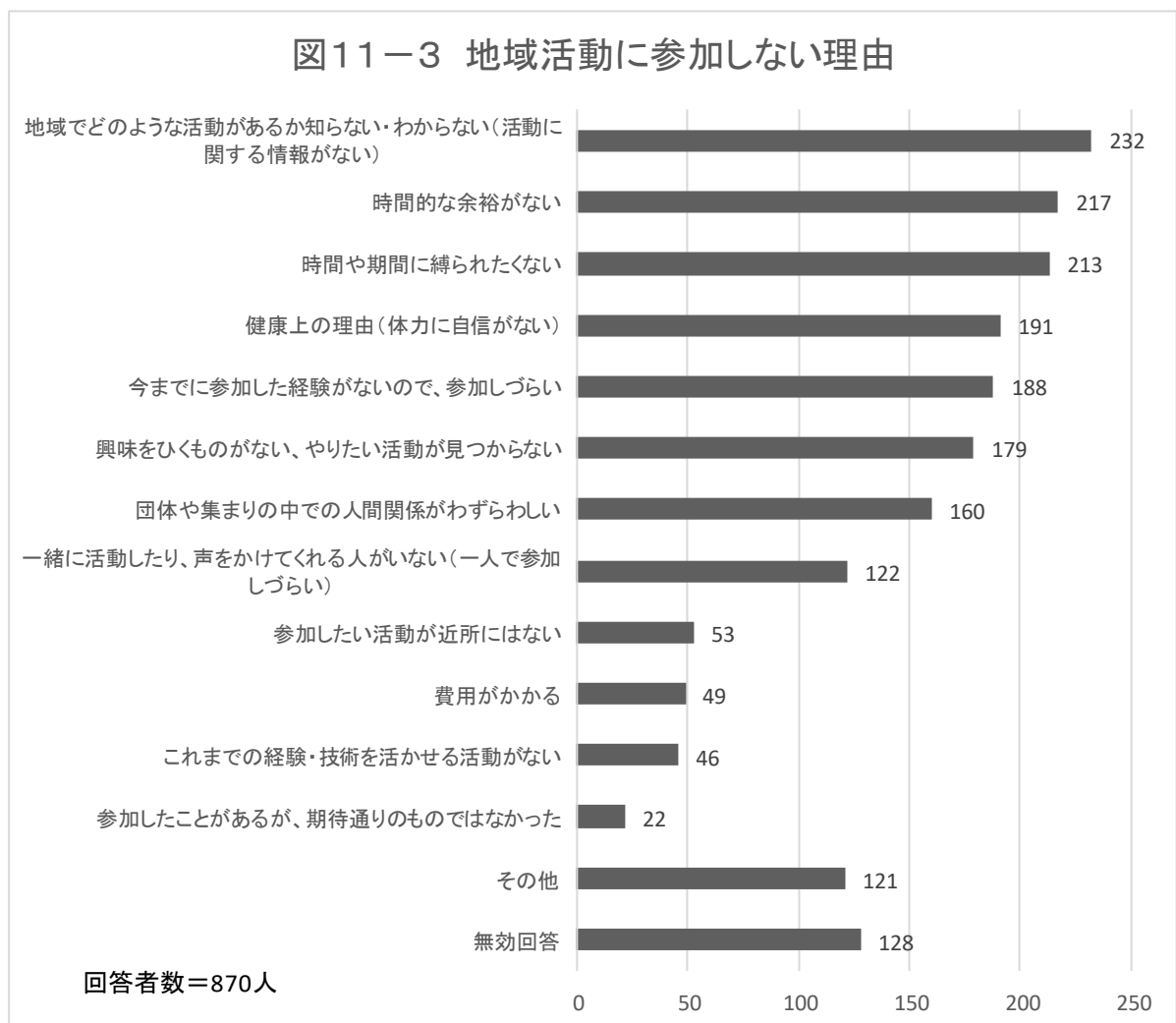
上位項目から、地域活動に対して健康・身体面でのメリットになることを求めている点、また情報を得ただけでは参加に繋がりにくく直接的な声かけが重要である点、場所の近さなど環境的な要因も影響している点がかがえ、内発的な動機と外発的なきっかけの両方の要素が必要といえる。



### 問11-3 地域活動に参加しない理由 (図11-3)

“問11-1で「参加していない」と回答した（地域活動に参加している）”人に、参加していない理由についてたずねた。「地域でどのような活動があるか知らない・分からない（活動に関する情報がない）（232）」、「時間的な余裕がない（217）」、「時間や期間に縛られたくない（213）」が比較的多く、次いで「健康上の理由（体力に自信がない）（191）」、「今までに参加した経験がないので、参加しづらい（188）」、「興味をひくものがない、やりたい活動が見つからない（179）」の順に多かった。一方で「参加したい活動が近所にはない（53）」、「費用がかかる（49）」、「これまでの経験・技術を活かせる活動がない（46）」、「参加したことがあるが、期待通りのものではなかった（22）」は少なかった。なお「その他（121）」では“仕事をしているため”との回答が目立った。

参加を促すためには、効果的な情報の周知・伝達が必要であること、また時間的な都合や健康上の理由を除いては、参加しやすい環境・条件や興味をひく内容などの工夫も必要と考えられる。



## 5. 現在活動中・今後参加してみたい活動について

### 問12 「している」活動（図12①：男女別）・「してみたい」活動（問12②：男女別）について

“「している」活動”については、男性/女性とも「ウォーキング（それぞれ 319/316）」、「体操・運動（231/403）」が回答数の上位を占めていた。また“「してみたい」活動”についても、男性/女性とも「体操・運動（103/153）」、「ウォーキング（95/129）」の回答数が比較的多かった。「その他（自由記入欄）」においては“（健康）麻雀”“習字・書道”“英会話などの語学学習”などの回答があった。

「体操・運動」「ウォーキング」等の健康づくりに関する項目が男女共通で多い一方で、“「してみたい」活動”に関しては、男性では「囲碁・将棋（84）」、「初心者向け料理教室（76）」、女性では「絵を描く・絵手紙（120）」、「歌・カラオケ（117）」が多いなど、男女別の特徴もうかがえた。

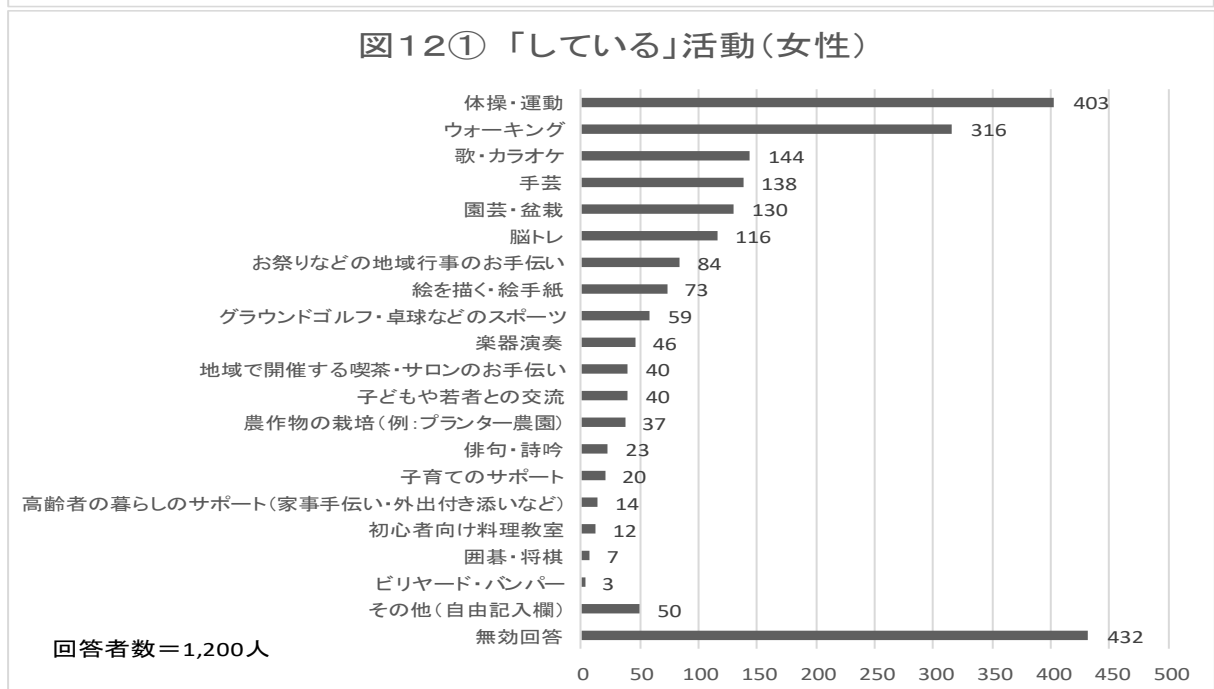
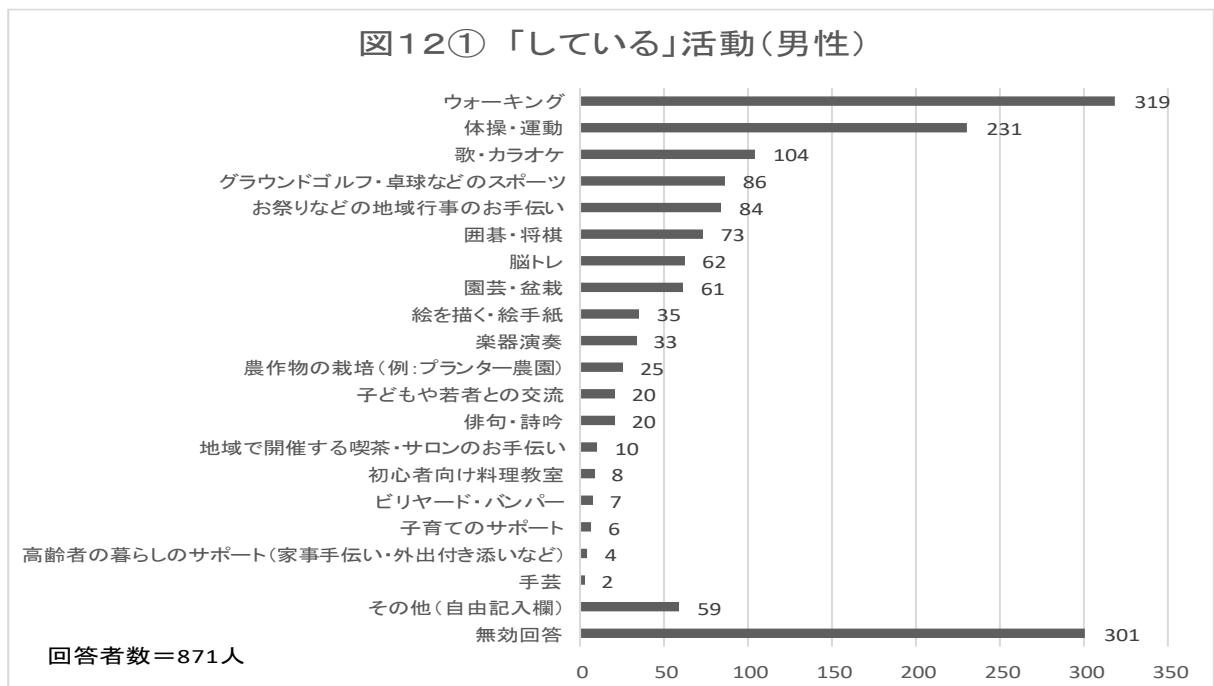




図12② 「してみたい」活動(男性)

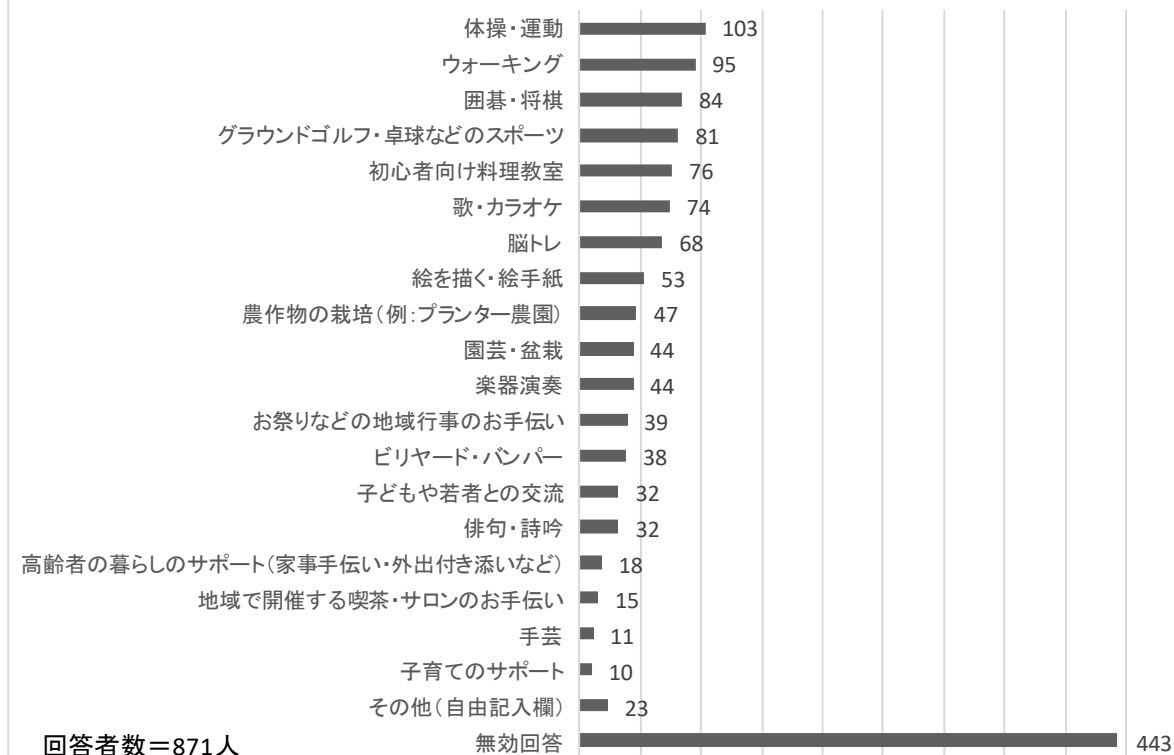
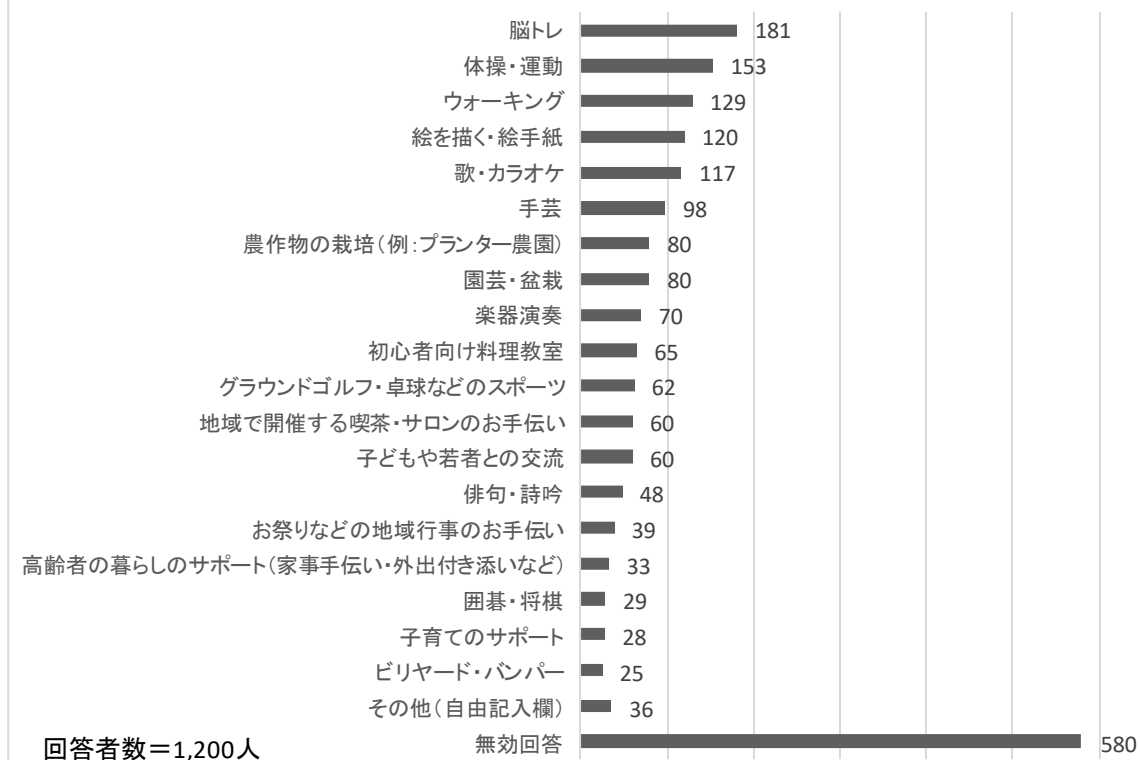


図12② 「してみたい」活動(女性)

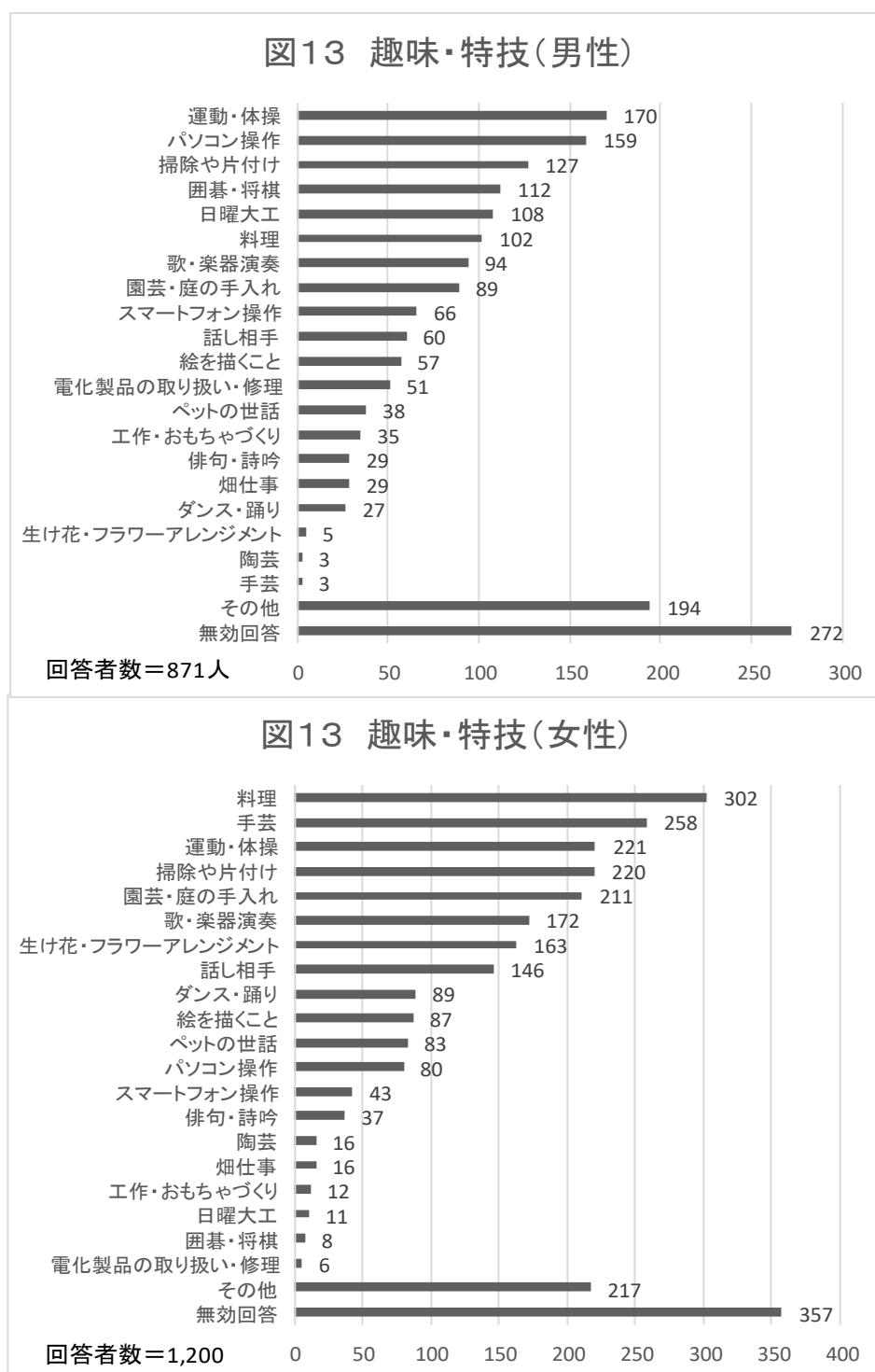


## 6. 趣味・特技

### 問13 趣味・特技について (図13: 男女別)

男性については、「運動・体操 (170)」、「パソコン操作 (159)」、「掃除や片付け (127)」、「囲碁・将棋 (112)」、「日曜大工 (108)」が上位であった。また女性では「料理 (302)」、「手芸 (258)」、「運動・体操 (221)」、「掃除や片付け (220)」、「園芸・庭の手入れ (211)」が上位を占めていた。なお「その他」では“ウォーキング・ハイキング、ゴルフ等のスポーツ”“音楽や美術、映画、舞台などの芸術・文化鑑賞”“読書、新聞を読むこと”などの回答が多かった。

問12同様、男女別の傾向や特徴がうかがえた。



## 7. その他意見（自由回答）

### 問14 生きがいつくりや地域における活動についての意見

生きがいつくりや地域における活動への意見について、合計で455件の回答があった。そのうち最も多かったのは、地域活動へ求める内容に関する意見であった（「初めての人がひとりでも行きやすい場所があれば」「体操・運動教室やスポーツのイベント等健康づくりのための場所があれば」「音楽・歴史等趣味を楽しむことができる場所があれば」等）。また、地域活動についての情報・周知についての意見も多数挙がっていた（「(内容や日時について) 地域活動に関する情報がほしい・分からない」等）。そのほか、仕事などで地域活動に参加できない事情や、現在の趣味や習慣に関する記述も見受けられた。

#### <自由回答の主な内容>

内 容	回答数
初めての人がひとりでも行きやすい場所があれば	74
地域活動に関する情報がほしい・分からない	48
趣味を楽しむことができる場所があれば	31
健康づくりのための場所があれば	27

※自由記述の内容をもとに、類似した意見を整理・集計

## Ⅲ 参考文献

- ・茨木市 企画財政部 政策企画課「茨木市のまちづくりに関するアンケート報告」  
(平成25年(2013年)3月)
- ・大阪市 「高齢者実態調査報告(本人調査・ひとり暮らし調査)」  
(平成29年(2017年)3月)
- ・内閣府 政策統括官 共生社会政策担当 「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査結果報告書」  
(平成26年(2014年)3月)

## Ⅳ 資料

- ・天王寺区社会福祉協議会広報誌「ゆうあい」第63号(令和元年(2019年)9月発行)  
「生活支援体制整備事業 生活状況(生きがいつくり)に関するアンケート 結果報告」
- ・地域サロンボランティア連絡会(令和元年(2019年)10月)  
「生活支援体制整備事業 生活状況(生きがいつくり)に関するアンケート 結果報告」